

korekara

『korekara』では、「ともに考え、動き、つくる。まちのこれから。」をキャッチフレーズに、さいたまの「まち」の魅力を様々な角度で紹介。市民の皆さんが、まちづくりに興味を持ち、参加する「きっかけ」となるような情報を発信しています。



特集

多くの人を訪れるまちを目指して

東京2020オリンピックが さいたまにやってくる!

今年はいよいよオリンピック・イヤー。さいたま市ではサッカーとバスケットボール競技が開催されます。東京2020大会後も残るものとして、まちづくりの整備が進んでいます。



2020年7月9日に
東京2020オリンピック
聖火リレーが
さいたま市を通過します

さいたま市で
サッカーと
バスケットボールが
開催!

さいたま市は
オランダの
ホストタウンに
なっています

オリンピック会場周辺の

まちづくり TOPICS

- 1 長距離バスターミナルの整備で
利便性と交通拠点性が向上
- 2 浦和美園駅構内に『キャプテン翼』の
巨大スタンドグラスが登場
- 3 さいたま新都心駅、浦和美園駅に
ホームドアが設置
- 4 さいたま新都心公園には
防災施設も整備
- 5 美園地区で
スクーターシェアリングを開始
- 6 ピクトグラムも採用した
道路標識の多言語化が進行中
- 7 まちをもっと美しく! 駅周辺を
中心に花いっぱい運動を展開
- 8 埼スタアクセス環境改善!
シャトルバス優先化を実施
- 9 市内各地でイベントも開催中
ますますこれから盛り上がる

1964年の 東京オリンピック 当時のさいたま市を 振り返る

1964年に行われた東京オリンピックでも、さいたま市内を聖火リレーが通ったり、市内の競技場でサッカーが行われていました。当時の様子を知る方にもお話を聞きながら、当時の様子を振り返ります。



市民協働のまちづくり

市民ボランティアがまちを盛り上げる
さいたま新都心の
「ふれあいプラザ」

さいたま新都心のバリアフリー活動を行い、「人と人とのふれあい」をテーマに、すべての人が安心して快適に活動できるような拠点づくりに取り組む施設の紹介です。



◀ けやきひろば1階にある、ふれあいプラザ。

▶ 車椅子や白杖体験を通じて、バリアフリーの重要性を学べる。



河川空間を
生かしたまちづくり
美園地区が
より暮らしやすく

平成13年に埼玉高速鉄道線が開通してから発展を続けている美園地区。埼玉スタジアム2002があり、サッカーファンが集まるまちです。現在、綾瀬川周辺に遊歩道を設置するなど、河川空間を活用したまちづくりが進んでいます。



◀ 3回にわたって行われた「綾瀬川デザインワークショップ」。行政、企業、自治会関係者、住民らが参加し、意見交換が行われた。

▶ 「水辺で乾杯」は全国各地で行われている、7月7日の夕方に水辺に集まり乾杯するというソーシャルプロジェクト。今年も開催予定。



埼玉会館

浦和駅から県庁方面へ向かって歩くと見えてくる黄褐色のタイルが印象的なモダンな建物。埼玉会館は、現在の建物で2代目。初代は大正15年に昭和天皇(当時の皇太子)のご成婚を記念して建設されました。その後、昭和30年代になって、老朽化により建替えが行われることになり、昭和41年に竣工。この時それを手がけたのがモダニズム建築の巨匠・前川國男氏です。



▲ 夜は建物がライトアップされる。周囲を散策しながら、昼とはまた違った雰囲気を楽しむこともできる。

まちを知る
まちを愛する

さいたま
景観
ストーリー

vol.11

詳しい内容は、ぜひ31号本誌でご覧ください！

korekara は、下記のいずれかの方法でご覧になれます！

このチラシは41,500部作成し、1枚あたりの経費は4円です。(デザイン・企画の経費を含みます。)

1 施設で

下記の公共施設などで配布しています。

- 各区情報公開コーナー
- 支所、市民の窓口
- 公民館 → 図書館
- コミュニティセンター
- 市税の窓口 など

2 郵送で

「korekara vol.31号郵送希望」と明記し、140円切手を同封の上、下記あて先までお送りください。

〒330-9588
さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
都市局都市計画部都市総務課 あて

3 ホームページで

「korekaraWEBサイト」や「ブックセルフ埼玉」でバックナンバーを確認できます。



korekara WEBサイト



ブックセルフ埼玉